

みやざき 県議会の動き

No.110

8

2026

令和8年8月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



6月定例会

県議会ではクールビズに取り組んでいます。

6月定例会が開催されました

6月定例会は、6月5日から6月23日までの19日間にわたって開催。16名の議員が一般質問を行い、県政の幅広い分野にわたり活発な議論が行われたほか、常任委員会及び特別委員会が開かれ、付託された議案の審査や所管事項の調査などが行われました。

この結果、知事提出議案については、自然公園等の施設における災害復旧の経費や県立高校等における教育改革の推進に向けた実行計画の策定等を行う経費、LPガス使用世帯等に対してガス使用料金の一部を補助する経費等を盛り込んだ「令和8年度宮崎県一般会計補正予算(第1号、第2号)」をはじめ、副知事の選任など27件を原案のとおり可決(同意・承認)しました。

可決(同意・承認)された主な提出議案

- 令和8年度宮崎県一般会計補正予算(第1号、第2号)
- 令和8年度宮崎県公営企業会計(地域振興事業)補正予算(第1号)
- 県税の課税免除等の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 宮崎県立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 副知事の選任の同意について

など 27 件

一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
県議会ホームページまたはYouTube「宮崎県議会公式ちゃんねる」から、一般質問の様態をご覧ください。



▲議会中継



▲YouTube



さかぐち ひろみ
坂口 博美
議員
宮崎県議会自由民主党
児湯郡選出

中東情勢の農水産業への影響を踏まえた対応について

問 中東情勢の農水産業への影響を踏まえ、どのような覚悟を持って対応するのか伺いたい。

答 知事 これまで物価高騰対策事業の早期執行や直接国に対策を要望してきたが、生産者からは今後の経営への強い不安の声を聞き、関係団体からは更なる支援の要請を受けたところ。本県農水産業を何としても守り抜くという確固たる決意のもと、9月定例会に向けて支援策をまとめ、県費を投入してでも必要な対応を行っていく。



のざき こうし
野崎 幸士
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

匿名・流動型犯罪グループへの対策について

問 警察における匿名・流動型犯罪グループへの対策について伺いたい。

答 警察本部長 本県警察では、関係都道府県警察との連携の下、情報の収集・分析を強化するとともに、押収したスマートフォン等の解析や通信・資金の流れの解明を進め、首謀者や指示役を含めた組織の実態解明と戦略的な検挙対策を推進していく。



ふくだ しんいち
福田 新一
議員
宮崎県議会自由民主党
北諸県郡選出

消防団所有の消防車両に係る現状について

問 県内消防団所有の消防車両におけるMT車・AT車別の台数と、AT限定免許保有の若者が多い現状も踏まえた支援策を伺いたい。

答 危機管理統括監 令和8年6月時点で892台あり、そのうち、584台がMT車、308台がAT車。現状を踏まえ、国では準中型免許を取得する費用を市町村が助成した場合に財政支援し、県では資機材整備補助にAT車両も含め、車両更新をメニューの1つとして支援しているところ。



わきたけ りこ
協谷のりこ
議員
未来への風
宮崎県選出

県立高校の魅力化について

問 県立高校の魅力化やネクストハイスクール構想への対応について伺いたい。

答 教育長 年度内に高校魅力化の方向性を示す2040年を見据えた「高校教育改革実行計画」を策定する。また、ネクストハイスクール構想として、地域産業を支える専門職や理数的素養を持つ人材の育成、地理的アクセス・多様な学びの確保等、本県の実情や特色を生かし先導的な取組を行う拠点校を検討している。



いわきり たつや
岩切 達哉
議員
県民連合立憲
宮崎県選出

公的な業務を担う事業者への対応について

問 物価高騰や人材難の中において、県内の公的な仕事を担う事業者に適切な業務委託費が自治体から支払われているか伺いたい。

答 総務部長 ごみ収集等の公共サービスは住民生活の基盤。物価高騰等を踏まえた契約変更等を促す国の通知に基づき、適切な対応を呼びかけている。一般ごみ収集を委託する21市町村のうち、13市町村で令和7年4月までに契約変更等を実施済み。今後も適切な対応に向けた助言等を行っていく。



やまぐち としき
山口 俊樹
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎県選出

県体育館の今後の利活用について

問 県体育館の今後の利活用に係る庁内の検討状況について伺いたい。

答 知事 県体育館については、宮崎国スポ・障スポ後に解体し、跡地を県が引き続き利用する方向で検討を進めている。現時点で、具体的な利活用方法は決まっていない。宮崎市の中心部という好立地を生かし、置県150年、さらにその先に見据える「安心と希望あふれる宮崎」の礎となるよう、引き続き、様々な観点から議論を進め、決定していく。



くろいわ やすお
黒岩 保雄
議員
宮崎県議会自由民主党
日南市選出

県南地域の公立病院のあり方に係る検討委員会について

問 「県立日南病院を中心とした県南地域の公立病院のあり方検討委員会」の構成員や検討項目、スケジュールについて伺いたい。

答 病院局長 地元医師会や医療関係者、自治会代表者、行政機関関係者を構成員とし、役割分担や医療連携のあり方を協議するとともに、職員派遣など医療資源の効果的な活用について検討する。今後、年4回程度委員会を開催し、基本的な方針をとりまとめることとしている。



ふた み やすゆき
二見 康之
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

農業振興対策について

問 平坦地域と中山間地域の地域特性を生かした農業振興について知事の考えを伺いたい。

答 知事 平坦地域では、農地の集約・区画拡大を加速させるとともに、スマート農業技術の導入を推進し、農業法人などの大規模経営体が、より効率的で生産性の高い農業を展開できる環境を実現していく。中山間地域では、ラナンキュラスや有機茶等の高付加価値化や、急傾斜地を放牧に活用する肉用牛との複合経営等により、所得の安定を図る。



やまうち いっつく
山内いっつく
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

新幹線整備に係るシンポジウムについて

問 これまでを踏まえ、今年度のシンポジウムの内容はどうか伺いたい。

答 知事 これまで宮崎市、延岡市で開催し、関心をもっていただく機会になった。一方、過去2年間の参加者は若者が少ないため、本年8月下旬に都城市で予定しているシンポジウムでは、プログラムの工夫や事前広報に注力し、これまで以上に多くの方に参加いただくことで、県民に対する更なる理解促進と機運醸成に取り組みたい。



いむら みつお
今村 光雄
議員
公明党宮崎県議団
都城市選出

障がい者入所施設の老朽化対策について

問 障がい者入所施設のうち、半数以上が築年数30年以上である。国からの施設整備補助金は入所施設も対象だが、県はグループホームの整備などに重点を置いている。施設整備の課題に対しどのように取り組んでいくのか。

答 知事 老朽化対策や利用ニーズに即した個室化など、環境整備は重要な課題である。施設関係者や市町村等と連携し、将来を見据えた丁寧な検討を重ねてまいりたい。



あらがみ みの
荒神 稔
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

木材利用技術センター(都城市)の利便性向上について

問 木材利用技術センター(都城市)での来場者の利用について、土日祝日の活用を含め利便性向上を図るべきと考えるが、県の考えを伺いたい。

答 環境森林部長 センターでは、幅広い世代に木材への理解が深まるよう、見学者の受け入れや、情報発信に取り組んでいる。利用者ニーズを踏まえ、センターにおける休日の木育イベント開催など、効果的に検討していく。



ほんだ としひろ
本田 利弘
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎県選出

物価高対策に係る財源の確保について

問 物価高対策を継続的に行うための財源確保の見通しと財源確保に向けた知事の考えを伺いたい。

答 知事 国の重点支援地方交付金を活用し対策を実施してきたが、継続的確保に向け、知事、九州地方知事会長として、さらに全国知事会を通じて国に要望等を行った。こうした要望が、国の補正予算における交付金確保につながったと考えており、今後もあらゆる機会を通じて、国に強く訴えてまいりたい。

常任委員会

常任委員会は、県の部局を5つに区分して、付託された議案や請願などの審査や、所管する行政施策についての調査等を行います。ここでは、6月定例会及び県内調査(5月実施)での各委員会の活動を紹介します。

総務政策常任委員会

本県とインドネシア政府等との連携合意について

外国人材の確保に向け、本県の介護分野の先行事例や他県の事例を参考に、各業種の需要に即した取組を行うとともに、今後の人材獲得競争の激化を見据え、全庁的な組織体制のあり方も含め検討するよう要望しました。

県内調査

宮崎空港ビル株式会社(宮崎ブーゲンビリア空港の取組)などを訪問し、ぎおんの里づくり協議会では、持続可能な地域づくりなどについて調査しました。



ぎおんの里づくり協議会(五ヶ瀬町)

厚生常任委員会

令和7年の自殺者数等の状況について

本県の自殺死亡率が他県に比べ、いまだに高く推移している事実を受け止め、本県の実情に応じた自殺防止対策を更に推進するよう要望しました。

県内調査

県立延岡病院(ハイブリット手術室等)や一般財団法人宮崎県遺族連合会(戦没者遺族援護事業)を訪問し、社会福祉法人徳栄会アリーブオさくらでは、青山歯科医院による在宅訪問歯科診療について調査しました。



県立延岡病院(延岡市)

商工建設常任委員会

みやざき産業振興戦略などの改定について

今後、改定を行う計画等については、本県の現状や社会情勢等の変化を踏まえた実効性のある計画となるよう、数値目標をしっかりと定め、成果が着実に現れるよう要望しました。

県内調査

県食品開発センター(食品製造業を技術的に支援する公設試験研究機関)や宮崎港東地区などを訪問し、高千穂町観光協会では、高千穂町の観光の現状や協会新社屋などについて調査しました。



県食品開発センター(宮崎市)

地域経済循環について

問 地域経済循環の観点から、県内調達状況をどう分析し、評価しているのか伺いたい。



ひだか ひろゆき
日高 博之
議員

宮崎県議会自由民主党
日向市選出

答 商工観光労働部長 県内需要額に占める県外からの移輸入額の割合である「移輸入率」は全産業で31.2%。約7割が県内で賄われていることを示しており、高い自給水準にある。一方、産業別にみると、飲食料品製造業分野の県内調達割合は2割強。全国平均並みだが、本県食材の供給能力を踏まえると、さらに引き上げる余地がある。

親なき後の相談体制について

問 障がい者の保護者が抱える悩みは「親なき後」の生活であると考えますが、県として今後どのように取り組むのか。



くどう たかひさ
工藤 隆久
議員

公明党宮崎県議団
延岡市選出

答 知事 極めて切実な問題であると重く受け止めている。適切な支援へと確実につながる相談支援体制を強化するなど、障がいのある方やその家族が、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、しっかりと取り組んでまいりたい。

産後ケア事業について

問 産後ケア事業における、市町村に対する県の支援について伺いたい。



ながやま としろう
永山 敏郎
議員

県民連合立憲
都城市選出

答 福祉保健部長 産後ケア事業の更なる拡充を図るため、市町村に対し事業費の一部を支援している。また、スキルアップ支援のための研修会も行なっている。今後は、市町村ごとに異なる事業の実施マニュアルの標準化を進めるとともに、地域の実情に応じた丁寧な助言や広域調整を行うなど、更なる支援にも取り組んでまいりたい。

平和台公園の「八紘一宇」の塔の碑文は訂正を

問 県立平和台公園にある「八紘一宇」の塔は戦争推進に利用されたが、碑文では「永遠の平和を祈念」と誤った歴史を伝えている。置県150年記念の公園再整備を機に史実に基づいた訂正で、文字通りの「平和公園」に。



まえ やしき えみ
前屋敷恵美
議員

日本共産党宮崎県議団
宮崎市選出

答 知事 平和台公園は、長年、県内外の方に広く親しまれてきた。「平和の塔」を取り巻く背景、経緯については、いろいろな意見があるが、現状のまま保存してまいりたい。

大学生が本会議を傍聴しました

6月定例会に、宮崎産業経営大学法学部の学生と指導教授が傍聴に来られました。県議会では、若者に議会を身近に感じてもらうため、高校生への出前講座や大学との共同授業、SNSを通じた情報発信に取り組んでいます。未来を担う若者世代の議会への関心を高められるよう、今後も開かれた議会づくりに努めます。



特別委員会

特別委員会は、県政の重要課題のうち特定の事項に関し、その対応に向けた提言を行うため、年間を通じて調査を行っています。それぞれの委員会の最近の活動等を紹介します。

地域交通対策特別委員会

閉会中の5月には、本県の地域交通の現状と課題等について、総合政策部から説明を受けました。

6月定例会では、BRJ株式会社から、自動運転車両など地域交通に関する次世代技術の動向や、その活用事例等について説明を受け、導入に向けた採算性の確保や、既存事業者との連携、中山間地域における移動手段の確保策等について質疑応答が行われました。



AI活用推進対策特別委員会

閉会中の5月には、本県の教育分野におけるAI活用状況について、教育委員会から説明を受けました。

6月定例会では、総合政策部から県庁におけるAI活用の取組状況や、産業分野における活用状況について、株式会社コーポレートGPTからは、AI活用の全国的な事例等について説明を受け、市町村におけるAI活用状況の現状や、AIを活用した本県の将来展望などについて、質疑応答が行われました。



九州各県議会議長会議

5月13日に佐賀県で開催された九州各県議会議長会議に、外山議長が出席しました。会議では、本県提案の「地域公共交通の維持」や「中小企業・小規模事業者への支援充実」、「食料安全保障の強化」を含む24件の議案が承認され、九州ブロックからの要望事項として全国都道府県議会議長会定例総会に提案されることとなりました。



環境農林水産常任委員会

自然公園等施設災害復旧事業について

国への要望の結果、災害復旧事業として別枠で確保された予算を有効に活用するためにも、事業に取り組む場所の選定にあたっては、現地の状況を的確に把握した上で、幅広い視野で検討するよう要望しました。

県内調査

硫黄山水質改善施設（河川水の中和処理の取組）などを訪問し、有限会社太陽ファームでは、土地の均平化などの簡易基盤整備、作業の効率化等について調査しました。



有限会社太陽ファーム（都城市）

文教警察企業常任委員会

県立高等学校等教育改革体制強化事業について

県立高等学校の魅力化を実現するため、事業の中で策定する「高校教育改革実行計画」について、学識経験者や専門家の意見だけでなく、当事者である生徒や保護者の意見も踏まえるよう要望しました。

県内調査

県警察本部や猿瀬発電所（無人搬送車による遠隔巡視点検の試験運用を実施）などを訪問し、飯野高校では小・中学校や地域と連携した教育活動を調査しました。



県警察本部（宮崎市）

お金のかからない政治の実現にご理解を！

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることや、有権者が政治家に寄附を求めることは、公職選挙法により禁止されています。

例えば、以下のような行為です。



- 地域のスポーツ大会やお祭りへの寄附、飲食物の差し入れなど各種行事に金品を贈ること
- 中元、歳暮、花輪、生花、祝儀などの贈答
- 自筆による返信を除き、暑中見舞いなどの挨拶状を出すこと

さらに、宮崎県議会では、

- 上記行為を選挙区内外問わず行わない
- 選挙区内外を問わず、祝電・弔電を打たない
- 「贈らない、求めない、受け取らない」の「三ない運動」の遵守

を申し合わせ、お金のかからない政治の実現を目指しています。

県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



日本の
ひなた
宮崎県



▲議会HP



▲キッズページ



▲議会中継



▲X



▲facebook



▲YouTube

9月定例会は、9月4日（金）から10月8日（木）までの日程で開催される予定です。